

令和7年度 監理技術者講習 開催のお知らせ

本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。本年度は右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、一級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義＋修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/> ※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

◆令和7年度監理技術者講習 日程表

会場	開催日		
福井	4月2日(水)	6月4日(水)	8月6日(水)
	10月1日(水)	12月3日(水)	2026年2月4日(水)
敦賀	6月26日(水)	10月28日(火)	2026年2月25日(水)

福井会場/第2演習室(定員12名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

◆会場所在地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校
(福井市下六条町16-15)

【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

土木系の監理技術者の
受講も可能です。

建築士会が行う監理技術者講習の特色▶①建築に特化した実務に役立つ講習 ②わかりやすく利便性の高いテキスト使用 ③建築士会CPD単位6単位の付与 ④左記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

お知らせ

令和7年度

一級・二級・木造建築士定期講習について

定期講習は建築士法により建築士事務所に所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければならないこととなっております。

令和4年度中に受講された方は、令和7年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では下記のとおり開催します。

受講申込みは、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。(公財)建築技術教育普及センターホームページにてお申し込みください。なお、パソコン・スマホ・タブレット等による申込みを行うことが出来ない事由がある方につきましては、福井県建築士会にお電話ください。

定員に達しました。

第1回 **令和7年7月7日(月)** (定員70名)

第2回 **令和8年2月18日(火)** (定員31名)

ところ：福井県中小企業産業大学校

(福井市下六条町16-15)

受講料：12,980円 講義方式：DVD講習

※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

令和7年度

既存住宅状況調査技術者講習開催

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けされました。調査の実施は、登録機関の講習を終了した建築士の方に認められる新たな建築士業務です。今年は令和4年度に資格取得された方の3年目の更新時期となります。下記のとおり更新講習1回と新規講習1回を計画しました。是非受講していただきますようご検討ください。

更新講習 CPD2単位(定員24名)

とき：令和7年11月12日(水) 13:30～17:00

ところ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…17,000円(税込)、郵送申込…17,600円(税込)

新規講習 CPD5単位(定員12名)

とき：令和7年12月10日(水) 9:30～17:00

ところ：福井県中小企業産業大学校 第2演習室

受講料：Web申込…21,450円(税込)、郵送申込…22,000円(税込)

申込方法：日本建築士会連合会HPよりお申し込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp>

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781まで

価格改定のお知らせ

(福井県建築士会事務局)

令和7年6月1日よりCPD実績証明書発行手数料を下記のとおり改定させていただきました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

個人正会員
550円(税込) → 変更なし

個人非会員
1,100円(税込) → 1,650円(税込)

情報提供コーナー

●国土交通省より「住宅税制関係通知の改正について」周知依頼がありました。日本建築士会連合会HPの新着情報に掲載されています。詳細は下記URLよりご確認ください。
<https://www.kenchikushikai.or.jp/index.html>

●国土交通省・経済産業省・環境省が連携して支援する「子育てグリーン住宅支援事業」の公式ホームページが開設されています。<https://kosodate-green.mlit.go.jp>

業務内容

■建築物省エネ法の係わる住宅・非住宅建築物の『省エネ計算代行業務』の専門の設計事務所

- ①非住宅建築物の適合判定又は届出申請の代行業務（モデル建物法・標準入力法による）
- ②住宅・非住宅建築物のCASBEE評価認証の申請代行業務
- ③住宅の長期優良・認定低炭素・ゼロエネ（ZEH）の計算及びBELS認証・「超省エネ住宅GX指向型」省エネ計算代行申請
- ④2025年4月法改正による「4号特例廃止」・「ZEH水準木造の構造基準変更」・「全ての建築物の省エネ適合義務化」で木造住宅建築物の構造計算（許容応力度も可）及び省エネ計算の代行申請業務

登録内容

一級建築士事務所 福井県知事 第い-1725号 既存住宅状況調査技術者 No2018-037
 一級建築士 大臣登録 第160328号 CASBEE建築評価員 登録08130-25 省エネ登録適合性判定員 第24A-0194号

福井県建築士会若狭支部 会員・賛助会員様

令和7年度 「建築士の日」のイベント案内

若狭支部「建築士の日」のイベントを下記の通り行います。
 お気軽にご参加ください。

記

①若狭彦神社 屋根葺き替え見学会

と き：令和7年7月4日(金) 15:00～
 と ころ：若狭彦神社にて（ヘルメット持参）

②若狭支部活動報告 写真展示

◎やまなみ保育園 園児による家の塗り絵の展示

と き：令和7年7月12日(土) 10:00～15:00
 と ころ：今富コミュニティセンター1階

問 合 先：福井県建築士会 若狭支部 事務局
 TEL 0770-52-4949

福井県建築士会 福井支部青年部会主催

「夏の交流会」のご案内

青年部会の交流会を開催いたします！
 おいしい食事と、楽しく、建築仲間の輪を広げましょう！
 青年部以外の会員、賛助会員、新規会員の方も大歓迎です！

と き：7月19日(土) 18:30～

と ころ：そらのガーデン

（西武福井店本館屋上ビアガーデン）

福井市中央1-8-1 西武福井屋上

会 費：6,000円(税込)

（※福井支部青年部の方、新規会員の方は補助あり）

申込締切：7月13日(日)まで

申込・問合せ：

①申込フォーム(右のQRコードから)

②(一社)福井県建築士会

TEL 0776-24-8781 FAX 0776-24-9570

③福井支部青年委員長 黒田

080-6352-1614



連載「戦後建築とアーカイブ」(中)

福井市内の失われた“戦後モダニズム建築”

福井工業大学教授 市川 秀和



坂部保治 設計
 「福井高等工業学校 講堂」1927



今藤仁三郎 設計「越前市島会館」
 上木組 施工 1936 (現存)



乾 馨 設計「織協ビル」
 熊谷組 施工 1967



伊藤 貞 設計「福井市文化会館」
 熊谷組 施工 1968

近代建築 (Modern Architecture) とは、幕末維新から明治・大正を経て昭和戦前期にかけて登場する多様な歴史的建築物一般を総称すると考えるのが通例であり、具体的には擬洋風建築や洋風建築のほか、煉瓦建築や近代和風建築、鉄骨造・鉄筋コンクリート造の建築まで実に様々である。福井県内には、個性的な近代建築が数多く現存している。この中でも関東大震災 (1923) 以降に普及する耐震・耐火に優れた鉄筋コンクリート造において、線・面・ヴォリュームの抽象的な構成要素に基づく合理主義的造形美で創造された建築作品が「モダニズム建築」と呼ばれるものの、従来の専門家による建築物調査でも注目されてこなかった。

福井県のモダニズム建築の第一歩は、1927年竣工の「福井高等工業学校・講堂」(坂部保治設計・取壊)と考えられ、これに続く「越前市島会館 (旧花筐文庫) 1936」(今藤仁三郎設計)は現存する。さらに空襲・地震・水害によって壊滅した県都・福井市の戦後復興期では、新たな建築都市の再建にモダニズム建築が大いに貢献した。しかし「織協ビル1967」「福井市文化会館1968」など戦後復興期を象徴するモダニズム名建築の多くが、学術的評価を得ないまま近年次々と取り壊され、郷土の戦後建築の記憶が失われ始めた。こうした現状からモダニズム建築の再評価とアーカイブの重要性が、新たな建築史研究の課題となっている。